

IBM Planning Analytics with Watson

あらゆる計画であらゆる事態に備える

ハイライト

- 手動で行っていた計画、予算編成、予測、レポート作成、分析を自動化
- 運用戦術を財務計画にリンク
- 柔軟な収益性分析とwhat-ifシナリオのモデリングを促進
- 人間の知能を補強するための予測機能や人工知能 (AI) 機能を搭載
- ユーザーがセルフサービス・ワークスペースに魅力的な視覚化資料を作成できる
- 使い慣れたMicrosoft Excel インターフェースと統合して、導入を迅速化
- 管理と運営されたワークフロー
- 柔軟な展開オプション

概要

変動性、不確実性、リスクは何年も前から存在しており、すぐにはなくならないでしょう。しかし、財務、業務、人事、販売など、ほとんどの計画立案チームは、分析を始める前にデータを収集し、統合し、検証するという、スプレッドシートを使った手作業に膨大な時間を費やしています。

そのため、大手企業は、財務および業務パフォーマンスの両方についてより深い洞察を提供する、より迅速で柔軟なソリューションを求めています。しかし多くの場合、クラウド・ソリューションの使いやすさと迅速な導入、または従来はオンプレミス・ソリューションでしか利用できなかった強力な分析機能のどちらかを選択しなければならないと考えています。しかし、今は選ぶ必要はありません。IBM® Planning Analytics with Watsonを使えば、そのすべてを手に入れることができます。1つのソリューションで複数のデプロイ・オプション。

計画・予測サイクルの高速化、組織全体でのコラボレーション、アジャイルな計画立案など、すべてが1つの拡張された計画と分析 (xP&A) ソリューションに集約されています

IBM Planning Analytics with Watsonは、高速で柔軟性を備えた、AIを活用した拡張された計画と分析 (xP&A) ソリューションです。クラウド、オンプレミス、IBM Cloud Pak® for Data、またはハイブリッド・オプションとして展開することができ、規模の大小を問わず、企業がプロセスの効率化を推進し、ビジネス・パフォーマンスを効果的に導くために必要な洞察を提供します。お客様にもアナリストにも使いやすさで評価されています。このソリューションは、手作業を自動化して計画や予測のサイクルを高速化するだけでなく、自動化を超えて、データから直接新たな洞察を発見するのに役立ちます。

IBM Planning Analytics with Watsonは、ビジネス部門・計画立案間の従来のサイロを解消します。データを中央リポジトリに統合し、ERP、CRM、HRMなどの多様なデータソースからのデータを統合して、すべてのユーザーが信頼できる唯一の情報源として機能する1つの管理されたデータベースにアクセスできるようにします。これにより、部門間でのフレームワークが可能となり、計画を合理化し、組織全体で透明性、コラボレーション (現場主義の計画立案)、調合を生み出す役割を果たします。単に計画を立てるだけでなく、データを分析してトレンドを明らかにし、継続的な計画のためにリアルタイムで反復することができます。IBM Planning Analytics with Watsonでは、すべての計画、予算、予測が同じアプリケーションで作成、保存されるため、すべてのユーザーが同じデータを使って作業を行うことができます。1つの計画への変更は自動的に更新されて他の計画に流れるので、必要に応じて一元化されたビジネス・ルールをすべての計画に適用することができます。

AIを活用したIBM Planning Analytics with Watsonにより、ユーザーは進化するトレンドや予測的な洞察に基づいて結果を予測し、詳細なwhat-ifシナリオ分析を実行して代替の前提条件を検証することができます。これにより、ユーザーはよりタイムリーで信頼性が高く、変化する市場の要求にリアルタイムで対応できるアジャイルな計画を作成することができます。IBM Planning Analytics with Watsonは、意思決定を加速し、意思決定の質を向上させます。

カスタマイズ可能な計画と分析ワークスペースで、IBM Planning Analytics with Watsonは情報の統合とトレンドの推測をサポートします。ドライバー・ベースの計画や定期的な予測などのベスト・プラクティスを推進し、これにより、個人、グループ、企業のリーダーは、前世代の計画立案ツールの制約から解放されます。

対話式の計画と分析ワークスペース

IBM Planning Analytics with Watsonは、カスタマイズ可能なユーザー・インターフェースを備えており、組織内の財務、業務、部門レベルのユーザーに導入することができます。KPIを単一の一貫したビューで表示し、ユーザーは計画の評価、パフォーマンス・ギャップの特定、問題の根本原因の診断を行うことができます。ユーザーは、ビジネス上の前提条件やシナリオのモデルをテストし、代替策が様々なビジネス要因に与える影響を即座に確認することができます。

インテリジェントな照会により、一般的なビジネス用語を使用した迅速な分析とレポート作成が可能です。強力な多次元式ベース (MDX) の照会で、階層とディメンションを任意に組み合わせたデータ分析が可能です。パワーユーザーは、非対称ネストされたレポートを含むような、高度な照会を構築することができます。しかし、多次元分析とレポートを必要な人にすばやく展開するために、ユーザーは専門家である必要はありません。

ガイド付き計画立案

IBM Planning Analytics with Watson は、管理・統制されたワークフローを提供し、スムーズで合理的な計画立案プロセスを実現します。ユーザーは、カスタマイズされたアプリケーションを作成して、計画、予算編成、予測、およびレポート作成プロセスへの参加を管理、促進、増加することができます。予算・計画管理者は、複数のステージを持つプランを作成し、各ステージに複数のステップを設けることができます。作成後は、参加者の招待、提出物の要件、期日の設定、計画活動の進行状況の確認などを行うことができます。IBM Planning Analytics with Watsonは、透明性が高く、簡単にナビゲートして完了するガイド付きの計画立案体験を生み出します。

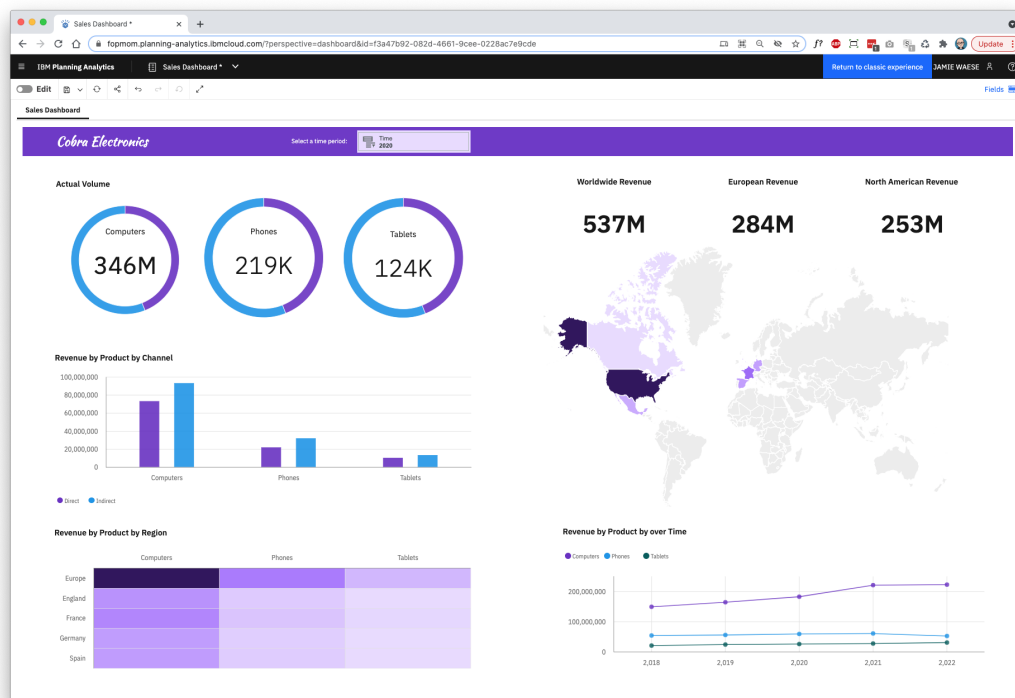


図1:

IBM Planning Analytics with Watsonは、対話型でカスタマイズ可能なワークスペースを提供します。

多次元分析

強力なインメモリーのIBM TM1®計算エンジンをベースにしたIBM Planning Analytics with Watsonは、大規模な、過去および未来志向のデータセットの多次元分析を可能にします。複数のデータソースを統合し、関連するすべてのシステムからの情報を比較分析することができます。ユーザーは、製品や顧客の収益性、サプライチェーンのオプション、売上品構成、価格/数量の変動など、複雑な多次元の計算や分析を行うことができます。

複雑な階層やディメンションを簡単に扱うことができ、ビジネス・パフォーマンスやビジネス上の問題に対する新しい洞察を獲得することができます。このソリューションは、企業規模のデータ量に対応する能力(多次元プランニング・キューブでのデータの希薄性を管理する能力により)により、データの移動や複製の必要性を減らし、アナリストが「信頼できる唯一の情報源」を提供します。

IBM Planning Analytics with Watsonの「階層」機能は、技術的なメリットとビジネスユーザーのメリットの両方を提供します。階層構造では、従来のキューブの定義に限定されることはありません。製品や顧客、地域などの特徴を表す「属性」を使って、より深く、より細かく分析することができます。属性データは、キューブの作成時に存在していたデータや後から導入したデータを使用して、「仮想ディメンション」の形で活用することができます。

分散管理により、すべての地域と部門が管理の行き届いた協調的なプロセスに参加することができます。その結果、製品ファミリーや販売区域などのビジネス構造について、より信頼性の高い、将来を見据えた見解を得ることができました。また、計画や予測、利益や成長の構想に使用するターゲットの定義にも役立ちます。

可視化、スコアカード、ダッシュボード

IBM Planning Analytics Workspaceは、ビジュアル性の高い自由なデザインを採用しており、チャート、地図、画像、図形などの多彩なグラフィックに加え、テキストやビデオも利用できます。これらの自動化された表示は、鮮やかでインパクトのあるレポートを作成し、意思決定者とインサイトを共有するのに役立ちます。クイック検索やSnapコマンドにより、自然言語感覚のインターフェースを実現しています。

計画や予算にリンクしたダッシュボードやスコアカードを開発し、企業全体で共有することができます。スコアカードとダッシュボードは、ビジネス・ユーザーがそれぞれの役割や機能に応じてパフォーマンスを測定・監視するのに役立ち、イニシアチブ、リソース、アクションを企業目標に合わせることで、戦略管理と実行を促進します。

高度なセルフ・サービスのモデリング

IBM Planning Analytics with Watsonの高度なサンドボックス機能とモデリング機能により、日常的な財務やビジネスのアナリストが、ITのサポートをほとんど必要とせずに高度な計画や予測を作成、維持することができます。IBM TM1の成熟した多次元テクノロジーをベースに構築されたIBM Planning Analytics with Watsonは、最も要求の厳しい収益性分析とシナリオ・モデルの、多次元の分析と計算を実行できます。

アナリストは、ほぼすべてのビジネス・ドライバーを計画、予算、予測に統合するモデルを構築することができます。モデルには、企業の構造、ビジネスルール、関係性を反映させ、それらの構造、ルール、関係性の変化に応じて修正することができます。ユーザーは、業務推進要因を定義し、計画立案プロセスを通じて財務および運用結果にリンクさせることで、1つの変数の変化が組織にどのように影響するかを確認することができます。これにより、主要なパフォーマンス指標の可視性が向上し、様々な業務推進要因が計画や予測に与える影響が明らかになるため、代替案を評価するためのリードタイムが増加します。

また、IBM Planning Analytics with Watsonは、計画立案サイクルを短縮し、スプレッドシート・ベースの手動プロセスにありがちなエラーを削減します。その結果、アナリストはより付加価値の高い分析に時間を割くことができ、データの検証やスプレッドシートの管理にかかる時間を減らすことができます。

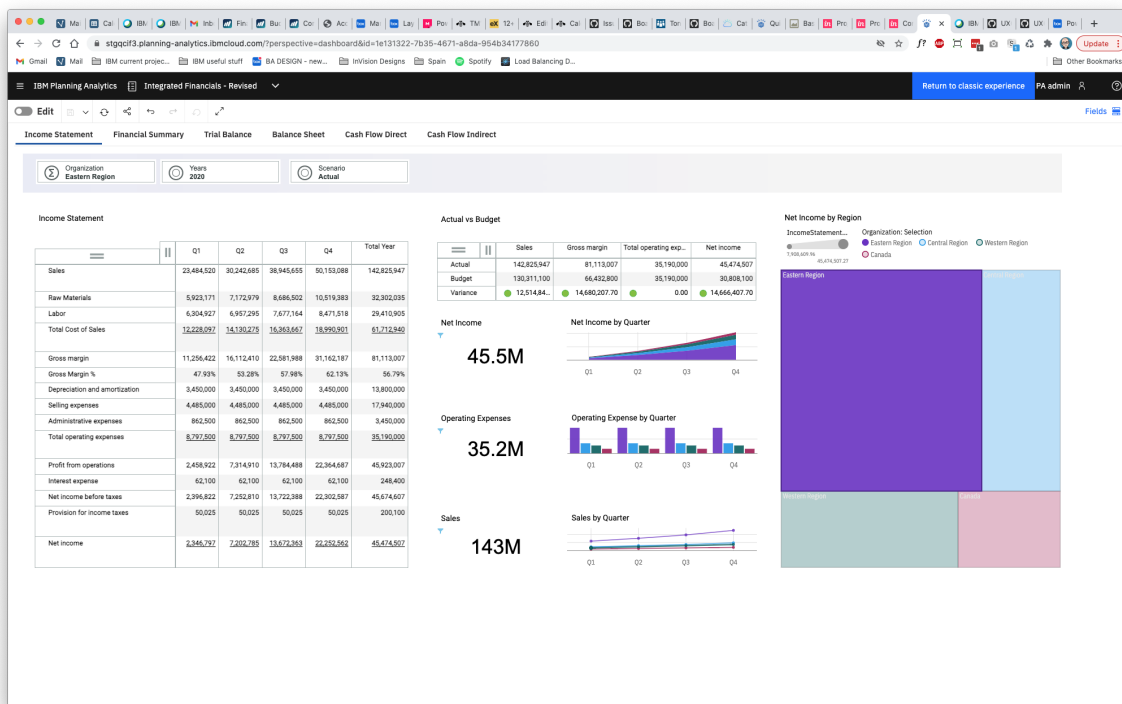


図2:

スコアカードやダッシュボードで、目標に対する組織の進行状況を直感的に素早く把握することができます。

IBM Planning Analytics for Excel

スプレッドシートは、これまでに発明された中で最も人気のあるソフトウェアツールの1つです。しかし、それらには限界があります。そのため、IBM Planning Analytics with Watsonでは、ユーザーがスプレッドシートを置き換えるのではなく、必要に応じてMicrosoft Excelのインターフェースで作業を続けることができます。

IBM Planning Analytics for Excelのインターフェースは、グラフ作成や組み込み関数など、Excelの機能と書式を完全に維持しています。金融機関やビジネスの専門家は、使い慣れたExcelのインターフェースで作業しながら、最新の計画立案や分析ソリューションの機能を利用することができます。

予測推定

IBM Planning Analytics with Watsonは、アルゴリズムによる予測の力を、データサイエンスのスキルを持たない日常的なユーザーにも提供し、より正確で一貫性のあるタイムリーな予測を可能にします。

予測推定は、統計的・予測的分析を用いて過去の値の傾向や季節性のパターンを特定・評価することで、人間の知性を補強し、予測正確度を大幅に向上させます。また、正確な予測の作成に必要な時間を短縮し、ユーザーはプロセスの最適化、例外の管理、調整に集中することができます。IBM Planning Analytics with Watsonは、統計アルゴリズムをソリューションに直接組み込むため、ユーザーはデータを外部のソリューションにエクスポートする必要がありません。アルゴリズムは、過去の値を評価し、最も正確度が高く誤差が少ないアルゴリズムを適用して、将来の値を予測します。予測が生成されると、統計の詳細ページに生成された経緯がわかりやすく表示されます。ユーザーはより詳細な情報を得ることができ、予測の説明責任を果たすことができます。

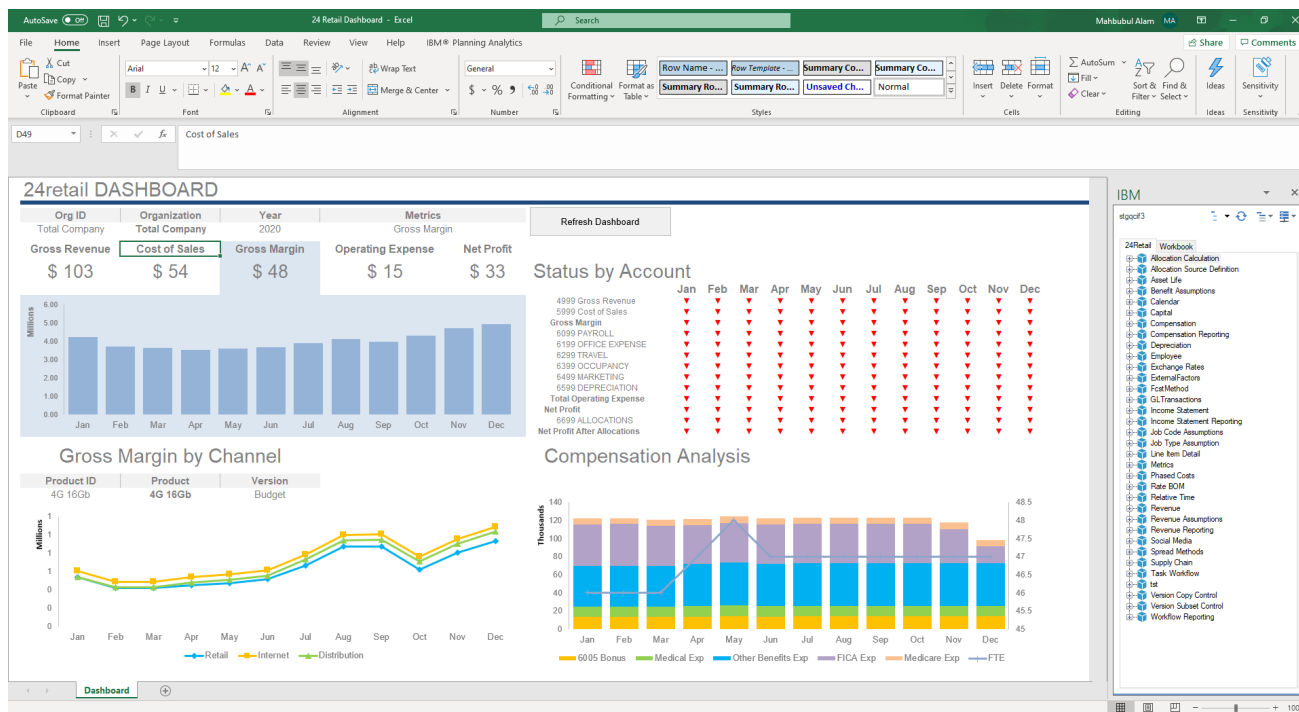


図3:

IBM Planning Analytics with Watsonでは、使い慣れたExcelインターフェースを使えます。

IBM Planning Analytics with Watsonのメリット

- 財務、業務、部門のビジネス・ユーザーが、カスタマイズ可能な分析のワークスペースで、タイムリーで信頼性の高い、アジャイルな計画、予算、予測を作成することができます。
- 自動化されたワークフローにより、プロセスの可視化と合理的な計画策定を実現
- ユーザーは多次元プランニング・モデルのデータを、使い慣れたMicrosoft Excelのインターフェースで分析することができます。
- 迅速で、柔軟に、what-ifシナリオのモデリングをサポートします。
- 多次元プランニング・キューブでの企業規模のデータ量を管理します。
- エンタープライズ・リソース・プランニング(ERP)とカスタマー・リレーションシップ・マネージメント(CRM)のシステムからのデータを含む、社内外のデータを活用します。
- 複雑なコスト配分や利益性分析を実行し、製品、顧客、地域、販売チャネルなどの利益性についてきめ細やかな視点で掘り下げます。
- ドライバー・ベースの計画や定期的な予測などのベスト・プラクティスを推進します。
- 魅力的な視覚化資料を自動的に作成し、地図、画像、図形などの多彩なグラフィックに加え、テキストやビデオなど、さまざまな種類を選択できます。
- スコアカードやダッシュボードを取り入れ、主要業績評価指標(KPI)を監視することができます。
- 予測機能の搭載により予測正確度を向上
- すべてのユーザーの役割に対して、Web、Excel、モバイルの統一された体験を提供します。
- 自然言語検索と多次元式ベース(MDX)の照会をサポートし、高速でパワフルな分析を実現します。
- 役割ベースのセキュリティにより、複数のユーザーやユーザーの種類をサポートし、ユーザーが必要なものだけを閲覧できるようにします。
- クラウド、オンプレミス、IBM Cloud Pak for Data、またはハイブリッド・オプションでの展開を容易にします。

詳細はこちらをご覧ください。

<https://www.ibm.com/jp-ja/products/planning-analytics>

担当者からの電話を依頼する

担当者からの電話をご希望の場合は、こちらからお問い合わせください。

<https://www.ibm.com/account/jp-ja/>

IBM担当者がお問い合わせにお答えします。

© Copyright IBM Corporation 2021

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19-21

Produced in the United States of America
2021年1月

IBM、IBM ロゴおよび ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点でのIBMの商標リストについては、www.ibm.com/legal/copytrade.shtmlをご覧ください。

本資料は最初の発行日時点における最新情報を記載しており、予告なしに変更される場合があります。すべての製品が、IBM が営業を行っているすべての国において利用可能なものではありません。

本書に掲載されている情報は現状のまま提供され、第三者の権利の不侵害の保証、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されています。IBM 製品は、IBM 所定の契約書の条項に基づき保証されます。

1. NTT 2020 Global Customer Experience Benchmarking Report,
<https://www.dimensiondata.com/en-gb/expertise/intelligent-customerexperience/customer-experience-benchmark-report-2020>

2. IBM Institute for Business Value, "The value of virtual agent technology",
<https://www.ibm.com/thought-leadership/institute-business-value/report/virtual-agent-technology>

3. MRS BPO, ibm.com/case-studies/mrsbpo-voice-gateway

